

学年	高校2年	教科	国語	科目	論理国語	単位数	2
教科書名	探求 論理国語 (桐原書店)		副教材名	読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版) 「探求 論理国語」がひらく世界 近代小説四選—山月記・こころ・舞姫・変身桐原書店) 現代文 長文 記述問題集 習得編 三訂版 (いっずな書店) ※教科書外の文章については、別紙での配布			
コース・クラス	一貫クラス (理系)						

I. 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

II. 授業のねらい

- 1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3 文学作品の基本構造を理解し、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえて表現を味わえるようにする。

III. 授業の進め方

- 1 自らの力で文章を理解し、説明できる言語能力を養成する。
- 2 聴覚・視覚に訴えるよう、様々なツールを活用する。
- 3 知識の習得を目的とした小テストを実施する。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。
- 2 授業中には、板書や必要な情報や気づいた点などをノートに書くこと。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 小説『山月記』・初見問題
- 1 学期 期末試験 : 評論「芸術も化学も『別世界』を見せる」・初見問題
- 2 学期 中間試験 : 評論「博物館というメディア」・「市民社会化する家族」・初見問題
- 2 学期 期末試験 : 随筆「陰影礼賛」・初見問題
- 3 学期 学年末 : 小説『こころ』・初見問題

※ 状況によって変動する場合がある。

VI. 評価の方法

- 1 定期試験
- 2 小テスト
- 3 提出物

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	基礎学力到達度テスト演習 小説『山月記』	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・ことわざ、四字熟語、文学史等の知識を身につける ・登場人物のおかれている状況、性格、心情の変化を読み取る。漢詩を正確に読み取る。 ・芸術と科学が根を同じくしていた時代から分け隔てられていく流れをつかむ。近代科学を支えてきたものは何であったのか、理解する。
	5	芸術も化学も「別世界」を見せる		
	6	演習		
	7			
二学期	9	評論「博物館というメディア」	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・「西洋近代のミュージアム」と「日本の博物館」との違いを理解する ・封建制から近代への移行を、家族という観点から捉える ・資本主義の影響によって家族が崩壊するとはどのようなことか、内容を把握する ・東洋と西洋の美的感覚の違いや日本料理・漆器の色合いの美しさが何によるものか、理解する。
	10	評論「市民社会化する家族」		
	11	随筆「陰影礼賛」【教科書外】		
	12	演習		
三学期	1	小説『こころ』	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の構造を理解する。 ・先生の遺書、「私」の過去の書き方に着目する。
	2	※小説を一冊購入し、授業を行うことも可能		
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。